

教育目標 進んで学ぶ子 なかよくする子 たくましい子



学校だより

新潟市立中之口東小学校 2024. 2. 27
第372号 児童数108名
ホームページ <http://www.kiranico>



記念誌の伝えるもの

校長 林 なおみ

平成17年3月発行の中之口村50周年記念誌『中之口への手紙』で、当時の教育委員長 高木 渡満氏が、地域に根ざした教育「中之口の良い所を教え、児童が地域に住みたくなるような特色ある学校づくり」を願うと書かれていました。

このたび中之口東小学校創立150周年記念誌が完成し、そこに『中之口ノート』として、子どもたちの生活科・総合的な学習の時間を中心とした学習成果が収められています。

1年生は、アサガオの観察や中庭での虫探し、サツマイモ掘り、リース作りなど、学校生活の中で季節の豊かさを実感しました。

2年生では、野菜の栽培や生き物の飼育がレベルアップします。「町探検」で好奇心を膨らませて地域を探検しました。

3年生は、江戸時代から続く桃・ぶどうの栽培を一年間通して学びます。昔から行われてきた梅や柿の保存食作りも体験し、中之口の豊かな食文化に親しみました。

4年生は、身近な中ノ口川から出発し、白根の大風合戦、大河津分水の歴史、五十嵐川を上る鮭、阿賀野川流域の水俣病へと学習をつなげていきます。川と人々の暮らしのかかわりを学びました。

5年生は、学校田での稲作を基に、他校や他団体との連携を広げました。複数の学校と共同で「こいがた弁当プロジェクト」へ参加したり、収穫したコメを他校の学習に提供して一緒に活動したりしました。

6年生は、中之口の魅力を伝えるPR動画を作成し、地域や他校へ広く紹介しました。『中之口ノート』の6年生の頁に、中之口の魅力を考えていく過程が紹介されています。

地域の人に中之口の魅力を聞く座談会を開き、どんな魅力があるか一緒に考えてもらいました。(なな、こうが、みゆう、るか)

みんなで悩んで、悩んで動画のテーマにする中之口の魅力を「地域の人々の温かさ・優しさ」「中ノ口川」「お菓子」「もも・ぶどう」の4つに絞りました。(めぐみ、ももか、くるみ、てんま)



【中之口の魅力 座談会】

「中之口の良い所を教え、児童が地域に住みたくなるような特色ある学校づくり」の願いをつなぐように、子どもたちは6年間の学びを通して、「自分たちで中之口のよさを知らせ、みんなが住み続けたい地域づくり」を考え、社会に参画していく力を身に付けています。

先人の願いを受け継ぎ、創立150周年記念誌『中之口ノート』は、子どもたちの学びを未来へ伝えます。